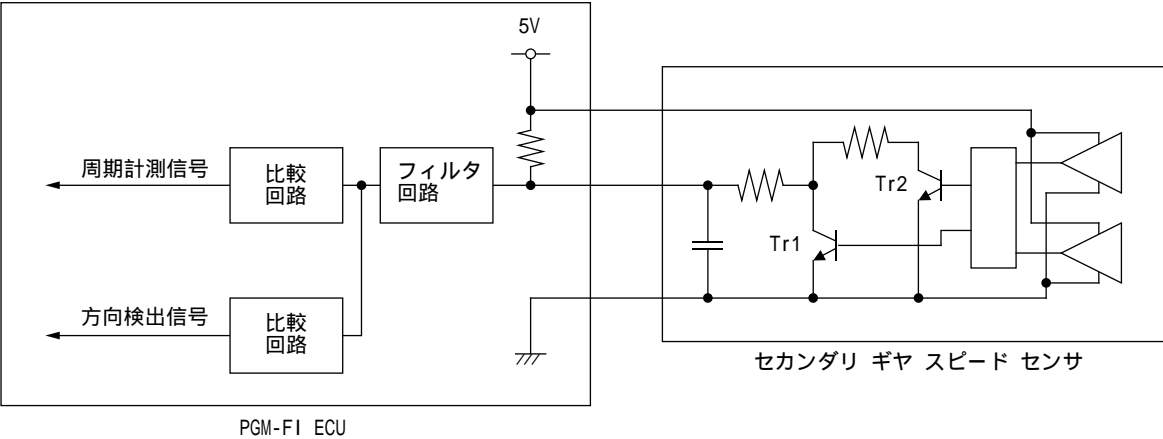


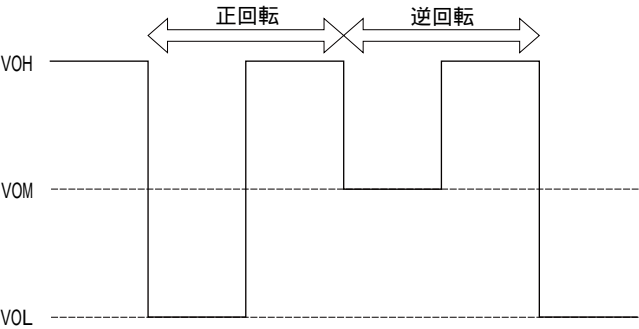
DTC 解説

DTC P1841: セカンダリ ギヤ スピード センサ後退方向検出機能故障

検知原理解説



01_P1840G_SZWA00



01_P1840G_SZWA10

Tr1	Tr2	パルス信号電圧レベル
OFF	OFF	VOH
OFF	ON	VOM
ON	OFF	VOL

セカンダリ ギヤ スピード センサは、トランスミッション ケースに取付けられている。
セカンダリ ギヤ スピード センサには、セカンダリ ドリブン ギヤ位置を検出する半導体が内蔵されている。
セカンダリ ドリブン ギヤが回転するとセカンダリ ギヤ スピード センサの磁束が変動する。磁束の変動はパルス信号に変換され PGM-FI ECU に送られる。
パルス信号の電圧レベルによってロータの回転方向が検出される。
車両の走行状態と、パルス信号の示す回転方向に相違がある場合、PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	2 秒間以上
検知手法種別	2D/C(2 連続検知手法)、PGM-FI 警告灯： 消灯、D 表示灯： 点滅
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

DTC 解説

検知実行条件

条件項目	下限	上限
インギヤ（駆動力伝達状態） 確定後の経過時間	3 秒間	
トルク コンバータ タービン 回転数 [トルク コンバータ タービン スピード]	300rpm	
車速 [車速]	3km/h	
セレクト レバーのポジション	R	
トルク コンバータ タービン の回転方向 [タービン回転方向]	正回転	
当該 DTC の検知禁止要求を行 う DTC	P0335、P0339、P0500、P0501、P0502、P0705、P0706、P0716、P0717、P0962、 P0963、P0966、P0967、P0970、P0971、P0973、P0974、P0976、P0977、P16C0、 P1840、P1842	
その他	セレクト レバー ポジションが一定であること	

[]: HDS パラメータ

故障判定基準

後退走行時にセカンダリ ギヤ スピード センサ回転方向出力信号 [セカンダリ シャフト回転方向] が正回転を示した状
態で 2 秒間以上継続した場合。

推定故障部位

- ・ セカンダリ ギヤ スピード センサの故障
- ・ PGM-FI ECU 内部回路の故障

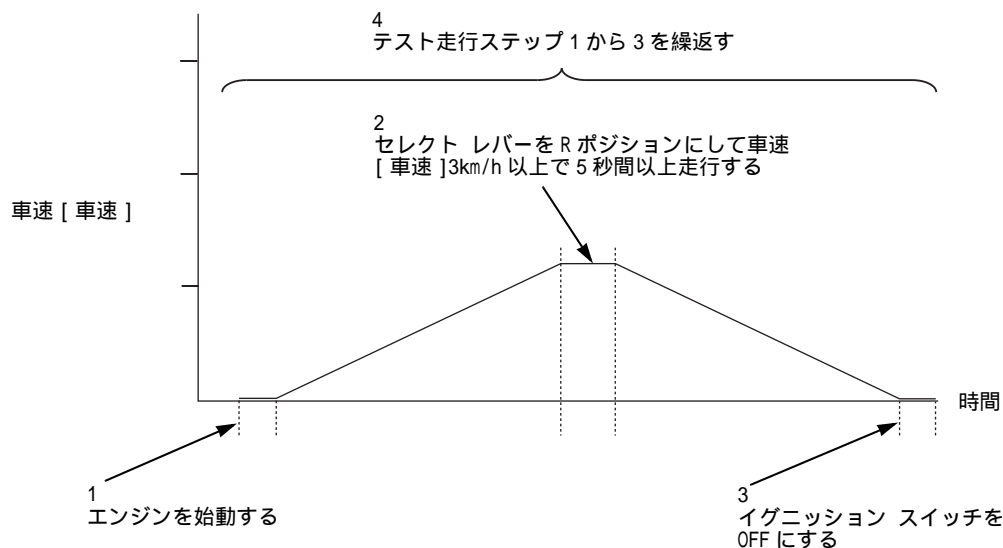
DTC 解説

再現テスト手法

HDS を使用する方法

なし。

実際の代表的テスト走行による方法



01_P1840D_SZWA00

1. エンジンを開始する。
 2. セレクト レバーを R ポジションにして車速 [車速] 3km/h 以上で 5 秒間以上走行する。
 3. イグニッション スイッチを OFF にする。
 4. テスト走行ステップ 1 から 3 を繰り返す。
- ・ テスト走行を行う際は、法令遵守の上、マナーを守り周囲の状況に即した運転をすること。

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC がストアされる。次回の D/C において同一の故障が検知 (2 連続検知) されると PGM-FI 警告灯が点灯することなく、D 表示灯が点滅し、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより D 表示灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。